

# 口内に副作用の可能性

## おくちの相談室

【問い】母を自宅で介護していますが、骨粗しょう症治療のために注射を始めることになり、歯医者に相談するように言われました。何か関係あるのでしょうか？（長崎市、59歳女性）

【答え】骨粗しょう症の治療とお口の中は一見関係なさそうなので、疑問に思われたことでしょうか。実は骨粗しょう症などで使われる薬で、口の中に副作用が起ることがあり、歯科医院での相談を勧められることが多いのです。

この副作用は薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)と呼ばれ、主に抜歯などを契機として顎の骨の壊死が起こります。強い痛みなどを伴い、広範囲に骨が壊死することもあるため、薬を始める前に抜歯などの処置は済ませておいた方が良くとされています。

お母さまが介護を受けている状況とすれば、しばらく歯科の受診がなく、抜歯を要する歯があるかもしれません。しっかり診てもらい、必要な処置を受けてください。なお、抜歯で食事に不都合が予想さ

れる場合、歯を残して対応することもあります。

そもそも、抜歯などの処置がなくても細菌感染でMRONJになる可能性があります。口の中が不潔だと、先々炎症を起こしてリスクが高まります。従って、継続的な口腔ケアが大変重要です。

ただ、MRONJは薬を注射で投与された患者10万人に対して90人程度の発症、内服薬では69人程度といわれており、大変まれな副作用です。また、薬を投与中でも、必要な場合は対策を施して抜歯できることがあります。リスクが強調されがちですが、本来は骨折などを予防して寝たきりになるのを防ぐために使う薬ですから、過剰に恐れるのではなく、適切な歯科処置の後に投与を受けることや、常に口の中を清潔に保つことが重要です。

訪問歯科診療や訪問口腔ケアで対応することも可能です。かかりつけの歯科医院または歯科医師会に相談してください。

### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

## 骨粗しょう症で歯科受診？



回答者  
出口 繁  
長崎市花丘町  
おくちの歯科医院長